

I 総 説

第 1 部 宮崎県の概況

第 1 章 環境にかかわる県の概況

1 地勢・気候

本県は、九州の南東部に位置し、東は太平洋に面しています。

総面積は約7,735km²で国土の約2%に当たり、全国14番目の広さですが、山岳地帯が多く、これらを水源に五ヶ瀬川、耳川、小丸川、一ツ瀬川、大淀川などの河川が太平洋にそそぎ、豊富な水資源をもたらしています。

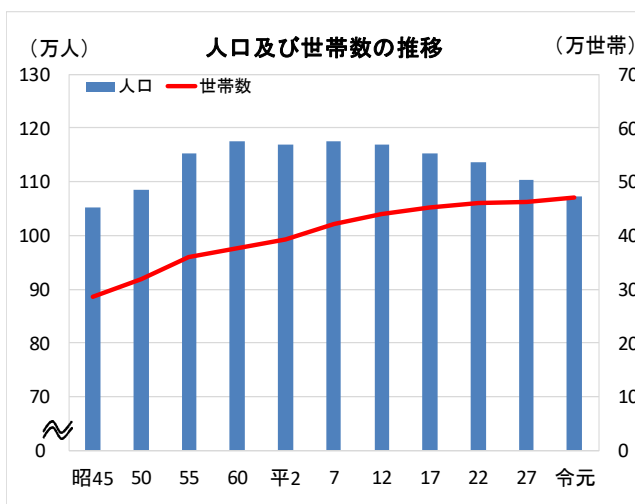
気候は、昭和56年から平成22年まで30年間の平年値では、快晴日数53日、降水量2,509mmが全国第2位となっており、日照時間2,116時間、平均気温17.4℃が第3位となっています。なお、平成30年の快晴日数は67日、降水量は3,168mmで全国第1位となっています。

2 人口・世帯数

昭和45年以降の本県人口の推移を国勢調査年次毎にみると、60年まで増加を続け、特に50年から55年にかけて大きな増加を示しましたが、その後、緩やかに増減を繰り返しましたが、平成7年以降、減少傾向にあります。

令和元年10月1日現在の本県の推計人口は、1,071,723人（男504,361人、女567,362人）となっており、前年同月比0.74%（8,004人）減少しています。

一方、令和元年10月1日現在の本県の世帯数は、470,687世帯で、前年同月比0.45%（2,094世帯）の増加となりました。



注：令和元年は推計人口

それ以前は国勢調査年次の数値
各年10月1日現在

3 産 業

本県の産業構造をみると、総生産額では第3次産業の割合が高いものの、全国的には、産業全体に占める第1次産業の割合が高い県となっています。

産業別県内総生産の比較（平成29年度）

産 業	県内総生産額（億円）	割 合（％）
第1次産業	1,994	5.3
第2次産業	8,918	23.7
第3次産業	26,496	70.4

（注）輸入品に課される税・関税等が加算控除されていないため、
構成比の合計は100%にはなりません。

4 土地利用

本県の土地利用区分は、次表のとおり、森林が県土の約75.7%を占め、次いで農地が約8.6%となっています。

県土の利用区分別面積（基準日：10月1日）

（単位：ha、%）

区 分	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	
	面 積	面 積	面 積	面 積	構成比
農 地	67,900	67,600	66,800	66,300	8.6
森 林	585,872	585,813	585,682	585,815	75.7
原 野 等	2,052	2,100	2,204	2,253	0.3
水面・河川・水路	22,648	22,641	22,621	22,600	2.9
道 路	25,925	26,551	26,202	25,973	3.4
宅 地	27,219	27,585	27,527	27,709	3.6
（住 宅 地）	17,545	17,668	17,635	17,686	(2.3)
（工 業 用 地）	1,296	1,296	1,450	1,496	(0.2)
（その他の宅地）	8,378	8,621	8,442	8,527	(1.1)
そ の 他	41,915	41,241	42,496	42,882	5.5
合 計	773,531	773,531	773,532	773,532	100.0

5 道路交通

本県の県内道路網は、高速自動車国道3路線、一般国道19路線（直轄分3路線、県管理分16路線）、主要地方道48路線、一般県道145路線、市町村道34,280路線の総計34,495路線に及び、これらの実延長は20,200kmです。

6 エネルギー

県内の電力需給状況は、発生電力量が消費電力量の半分程度となっている状態が続いていますが、平成24年7月に開始された固定価格買取制度によって、太陽光発電を中心とした再生可能エネルギーの導入が進んでいます。